

萩原良昭

観月橋七時十三分の、この各停では座れないし、あの子にも会えない気がする。明日からは 中書島七時七分の急行にするつもり。

体育の時間、今日もサッカー。

地面は 先日ほど、ベチャベチャじゃなかつた。

靴は それでも ブチャブチャになつた。

僕のトレパンは 泥だらけ。

泥が乾いて こびり付いている。
そのトレパンを はいて する。

他の連中のは ピカピカのトレパン。

家に持つて帰つて洗つた為か、大変。白い。
また よごれるのに、もつたいたいと思つた。

僕と、中川と、親友の奥田だけが 皆、それなりに よごれた。
また、皆、洗うことになる。

今日は、僕も 持つて帰る。

次は 僕も きれいなトレパンをはける。

国語がなくなり、五時間で終了。
図書室で 大学レベルの数学の本を見る。
急いで、帰宅ラッシュに巻き込まれたくない。
図書室は、静かで、気が休み、居眠りもできる。
机にひじ枕で、コクリ居眠りしている僕だった。